

上越市と佐渡市の負担割合は合意できず、それぞれの計算で支援へ 小木直江津航路の新船舶建造費問題、市が文教経済委員会で説明

文教経済常任委員会が8月23日開催されました。議題は小木直江津航路の運航支援についてです。この日は、佐渡汽船株から木村専務と尾崎経営企画部長を参考人として召致しての質疑、支援する上越市側の担当幹部に対する質疑が行われました。

最初に佐渡汽船株の方から中型高速カーフェリーの導入計画概要の説明がありました。この中で明らかにされた主なものをあげますと、以下の通りです。

●航海時間を片道100分以内とすることで、1隻体制による利用しやすい2往復ダイヤが可能となる。ゴールデンウィークや夏季繁忙期などでは、需要に応じて3往復ダイヤも可能。

●新たに購入する船については、納期と建造実績からカタマラン（双胴船）を軸に検討をすすめていること。

●小木直江津航路の収支シミュレーションをしたところ、平成27年度、輸送人員20万人、航送換算台数3万6500台で試算すると、平成24年度実績と比較して、運航収益は3億2600万円増えて10億8400万円に、運航収支は2億2200万円改善され、マイナスの1000万円となる見通しである。

●今年の9月には造船会社と建造契約を締結したい。

●運航ダイヤは北陸新幹線との接続を含めて検討していく。

佐渡汽船株に対する質疑では、日本共産党議員団の上野議員が、「支援スキームに狂いを生じた場合、（佐渡汽船株が）いったん（建造を）立ち止まるというのはいないか」と確認しました。これに対して木村専務は、「まさしくその通りだ」と答えました。また上野議員は、「収支シミュレーションによると、新船舶導入で運航収支のマイナスが大きく減るとなっているが、そんなに効果を発揮できるのか」と質問しました。これについては、尾崎部長が、「100分運航が可能になれば、利用しやすいダイヤが組める。それに北陸新幹線開業に伴う改善もある。夢の数字を出しているわけではない」と答弁しました。他の議員からは、「収支シミュレーションは平成27年だけではだめだ。複数年を示すべきだ」などの質疑がありました。

この後、上越市当局が小木直江津航路についての「公的支援の考え方」を明らかにしました。この中で、「負担割合に係る佐渡市との協議は平行線だが、その後の協議で、『公的支援にあたり、両市



酒米、五百万石の稲刈りが始まりました。長わらを干す風景も見られます。上越地域は酒米の生産地として有名です。いい天候が続いてほしいものですね。写真は吉川区片田地内で撮影しました。



【シロバナサクラタデ】漢字で「白花桜蓼」と書きます。タデ科の多年草。桜の形をした白い花は日が当たるとキラキラ輝きます。この時期になると載せたくになります。写真は吉川区にて撮影。

それぞれの立場で、それぞれの根拠を基に支援すること、またその結果、船舶購入費に不足が生じた場合は、佐渡汽船株が自ら負担すること』については、8月19日に佐渡市との間で合意した」と、その結果、「当市の負担割合は21・7%とし、支援額を上限2億6040万円とする」とのべました。簡単に言うと、負担割合についてはの合意は出来ていないが時間が経たない、ついでにはそれぞれの市が考える根拠に基づき、支援を行おう、足りない分は佐渡汽船株で出してもらおうということとです。なんか、しつくりしませんでしたかね。こんな形で公的支援が決められていいのでしょうか。

4日から9月議会です

9月定例議会が4日からはじまります。今定例会は市長の任期最後の定例議会です。傍聴にお出かけください。

2013年9月議会審議日程			
月日	曜	会議	場所
9月4日	水	本会議	議場
9月5日	木	本会議	議場
9月6日	金	文教経済委員会	第一委員会室
9月9日	月	文教経済委員会	上野議員担当
9月10日	火	厚生委員会	第一委員会室
9月11日	水	厚生委員会	平良木議員担当
9月12日	木	建設企業委員会	第一委員会室
9月13日	金	建設企業委員会	
9月17日	火	総務委員会	第一委員会室
9月18日	水	総務委員会	橋爪議員担当
9月20日	金	一般質問	議場
9月24日	火	一般質問	議場
9月25日	水	一般質問	議場
9月26日	木	一般質問	議場
9月30日	月	本会議	議場

「笑顔がいっぱいで、とても楽しかったです」

初めて川谷大運動会に参加したAさんの感想がマイクを通じて体育館に広がったのは午後五時過ぎでした。その後が続いた人たちも、「こんなに楽しい運動会はない」とのべていました。

私自身、とても楽しかったのですが、それらの感想にうなずき、拍手を送っていたのですが、何人もの人たちが笑顔のことにふれたので、参加者がどれほど笑っていたのかを写真で確認してみたくまりました。

家に戻ってからパソコンを立ち上げ、写真を見てみたら、驚きましたね。この日は運動会の写真だけでも八七枚撮っていたのですが、笑顔いっぱいの写真が次から次へと出てきたのです。

例えば最初の種目の輪投げ。五メートル離れたところから数字の書かれたボードめがけて輪を投げ、ボード上の棒に輪がかかったところの数字の合計で競う種目です。七枚目、八枚目の写真では、左利きのサイチロウさんが真剣な表情で投げている、その後ろで首からタオルをぶら下げたゲンイチさんがニコニコしています。カメラを構えた農文協の記者さんも笑っています。二〇枚目の写真、とんでもない方向に輪が飛んで行ったのでしょうか、お寺の奥さんが手で顔をおおっています。後ろにいたミエさんとヨシエさんは大笑いしています。輪がうまくボードの棒にかかったときだけでなく、外れたときも笑えるのは、こうしたゲームならではの事です。

早飲み競争はビールや酒、ジュースなどを早く飲みほしてからゴールまで走る種目です。スタート地点から走り出し、五メートルほど行ったところにある段ボールで隠された飲み物が走者にとって飲みやすいものかどうかが勝負を左右します。飲み物を走者に見えないようにしながら準備している下川谷町内会長さんとカズシさんの笑顔が写っていました。おそらく、リュウジさんあたりが、「おい、見えたぞ」とか言って笑わせたのだと思います。写真にはありませんでしたが、飲めないワンカップを手にした人が、隣の人と交渉して別ものにかえてもらおう場面でも笑いが起きました。

競技では予測できない事態が起こることがあります。輪投げで、投げた輪がボードの棒の一番上にひっかかったままになるという極めて珍しいことが起きました。みんなはどうなるか、しーんとして注目していたように思っていたのですが、やはり最後は笑顔がいっぱいになっていました。パン食い競争では、誰よりも早くパンをくわえゴールしたものの、途中でパンが袋から出て床に落ちてしまった人いました。この時も、「あーあ」というため息とともに、大きな笑いが起きました。

集落対抗をやめて、個人競争を中心にした運動会になって二年目。この日の運動会では、みんなに参加してもらい、喜んでもらうための工夫が随所にみられました。縄なし、小豆拾いなど、ふだん競うことのないものも入れて全員参加種目に据える。賞は一等賞から三等賞までに加え、一〇位と二〇位にも賞が出る。賞状や景品を渡すときは、駐在さんや郵便局長さんなど来賓として参加した人たちが全員が分担する。初めて参加した人、久しぶりに参加した人など、大勢の人たちから参加した感想を語ってもらおう。こういった工夫はみんなの笑顔につながりました。

私が撮った写真の中で一番笑顔の数が多かった人は誰だと思えますか。ビン釣りはまさかの大苦戦、縄なし競争で最長の二五〇秒を記録したゲンイチさんです。

2回目以降の質問への答弁は自席で



京都府福知山市議会議会運営委員会のみなさんが先月20日、上越市議会に来られました。中山間地域振興基本条例の制定とその後の動きについて学びたいとやって来られたのです。中山間地対策は私の担当ですので、私が議会を代表して対応しました（写真）。

福知山市議会の議会運営委員会には議会各会派の幹部クラスの人が入っておられ、私の説明後は、「議会基本条例との関連はどうなっていたか」「市や市民の責務、役割は書きこんであるのに議会の役割が書かないのは疑問だ」などの質問や意見が相次ぎました。

中山間地対策についての意見交換後、議場や第1委員会室を見ていただき、ここでも意見交換をしました。ユーストリームを使ったインターネット中継は福知山市議会よりも

上越市議会の方が一步前に出ているとのことで評価してもらいましたが、「一般質問で2回目以降も市長や部長が自席で答弁しないのはおかしい。改革が必要だね」という声もいただきました。福知山市議会ではかなり前から、2回目以降の質問に対する答弁は自席で行っていることでした。私も以前から疑問に思っていたので、今後、改革を提言して行きたいと思います。いい勉強になりました。



【ソーメンカボチャ】この粕漬けが大好きです。大山温泉近くで撮影。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	8月21日(水)	8月28日(水)
上越南消防署	0.036	0.040
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.040	0.043
頸南消防署	0.040	0.040
東頸消防署	0.040	0.047
高土分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.047	0.047